

今年1年、図書だよりを読んでくれてありがとう



ているる図書情報室 2階

NEW 12月の新着図書



書名	著者	テーマ	書名	著者	テーマ
女性白書 2023	日本婦人団体連合会	白書	第三回 名桜文学賞受賞作品集	名桜大学附属図書館	文学
男女共同参画白書(令和5年版)	内閣府	白書	暗鬼	乃南アサ	文学
男女共同参画政策の推進に向けた評価に関する調査研究	内藤和美 高橋由紀 山谷清志 他	男女共同参画・報告書	李王家の縁談	林 真理子	文学
沖縄戦場の記憶と「慰安所」	洪玗仲	郷土	くすだま折りの花 季節のつるし飾り	久保 満里子	ハンドメイド
ヤマト嫁 沖縄に恋した女たち	吉江 真理子	郷土	Lilla Blommaの大人服 衿・袖・裾をつけかえて、アレンジかんたん!	Lilla Blomma	ハンドメイド
アメリカ世の記憶 復帰50周年記念特別企画展	沖縄県平和祈念資料	郷土	逃げるは恥だが役に立つ 1~5巻までのセット貸し	海野 つなみ	コミック
沖縄の信仰用具に関する 総合調査報告書	沖縄県教育庁文化財課	郷土	なぞなぞあそび 1	このみひかる	児童書
太田康子(太田守福)の聞き書き 戦前・戦中・戦後の沖縄を生きて	嘉陽礼文 太田守史 他	郷土	めぐみの旅立ち	てるや ただし	児童書
ひとり親けんこう白書 NPO法人シングルマザーズシスターフッド	NPO法人シングルマザーズシスターフッド	女性 家庭	なかまさがし	てるや ただし	絵本
いじめのリアル 23,500人の子どもの声	NPO法人市民共同学習プロジェクト子どもひろば	学校 いじめ	ぼくの涙はだれの涙	てるや ただし	絵本
中学校の事業で ネット中傷を考えた	宇多川 はるか	学校 いじめ	ごぶごぶごぼごぼ	駒形 克己	絵本

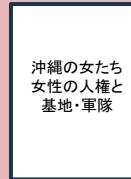
ているるHPから蔵書検索もできます！
ご予約やリクエストはスタッフまで！

<http://www.tiruru.or.jp/facility/library.html>

▼QRコード



スタッフオススメ図書紹介コーナー



沖縄の女たち 女性の人権と 基地・軍隊

高里 鈴代(監修)
明石書店
K 367.143 /タ

基地から派生する問題の一つである米兵から女性に対する人権侵害、女性兵士に対する男性兵士による軍内での性的いやがらせ、慰安婦や売買春の問題などについて記されています。本が出版されたのは1996年になりますが、現在でも通ずる内容となっています。女性の人権問題に対して考えさせられる一冊です。



ロベタでも90分 人生が変わります 話し方

野村 絵理奈(著)
講談社
361.45 //

人前でのスピーチの緊張をコントロールする方法や攻撃的な話し方を改善する方法など日常生活を送る中で悩むコミュニケーションについて著者が開催している話し方教室とその生徒とのエピソードを通して書かれています。スタッフはこの中で興味のない話に共感する方法や朴訥と話下手の違いなどの部分は印象に残っています。コミュニケーションについて参考になる一冊です。

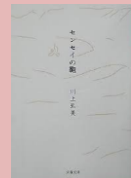


こども六法

山崎 聡一郎(著)
弘文堂
J 320 /コ

刑法や民法、少年法など難しく書かれてある法律について絵を交えながら分かりやすく書かれています。スタッフはこの本の中で、国によって法律に違いがある部分やいじめで悩んでいるきみにの部分が印象に残っています。法律について分かりやすくかかれており、さらに文章の中にも温かさを感じられる一冊となっております。

オススメ!



センセイの鞆

川上 弘美(著)
文芸春秋
B 913.6 /カ

40歳を目前にした大町ツキコは、居酒屋で高校時代の国語の「センセイ」と再会します。会う約束をしたわけでもなく、ツキコのもとにセンセイがやって来る自然な逢瀬を重ねるうちに恋仲になります。年の差のある二人の心を通わせる日々は、くすっと笑ってしまうようなやりとりで溢れています。大人の恋でありながら、小さなときめきがたくさん綴られている小説です。小説のラストでは切なさのあまり、涙が止まりません。何度読み返しても、きらきらとした二人の時間に心が和みます。川上弘美さんの作でおすすめの一冊です。



チーズはどこへ消えた?

スペンサー・ジョンソン(著)
扶桑社
933 /ジ

本書は、「チーズ」を求めて迷路を彷徨うネズミ・スニッフとスカリー、人間・ヘムとホーの短い物語です。「チーズ」は、人が人生で求める「仕事」や「お金」、「家族」、「恋人」、「健康」などを象徴します。2匹と2人の「チーズ」を手に入れてからの行動、食べつくしてしまっからの行動は、人の慢心や変化する状況への順応を示します。私たちは、日常生活の変化に向き合うことができているでしょうか。新しいことに挑戦する気持ちが湧いてくる一冊です。



私に萌える女たち

米澤 泉(著)
講談社
367.15 /ヨ

女性の「かわいい」は、男性を意識して、男性にモテるためのものではない! 著者は、女性ファッション雑誌の分析を通じて、日本の女性が「私萌え」のために「かわいく」生き続けていると論じています。「私萌え」とは、「ファッションや化粧といった装いにおいて、自分が自分に満足すること、うっとりすること」(p.18)です。自らのなかの「かわいい」への欲望を明らかにされた一冊です。かわいいもの好きな方は共感するかもしれません。

オススメ!



毒親サバイバル

菊池 真理子(著)
KADOKAWA
726.1 /キ

著者である菊池真理子さんを始め、11人のひとたちの実際にあった体験談をマンガという形で書かれた本です。スタッフは11人のひとたちが親からどのような傷を受けて、そしてその親とどのようにして向き合ってきたのかについて書かれているところや巻末では臨床心理士である信田さよ子さんの解説で毒親やACについて考え方の部分のところが印象に残っています。親子関係について考えさせられる一冊です。



13歳からのスマホルール

鳥袋 コウ(著)
旬報社
YA 694.6 /シ

著者はスマートフォンアドバイザーのモバイルプリンスこと鳥袋コウさんが最近問題となっているSNSの炎上やフェイクニュースなどに巻き込まれないようにするためにどうすればいいのかについて分かりやすく書かれています。この本の中でレコメンド機能についてのところとスマホゲームの仕組みの部分が印象に残っています。スマートフォンやインターネットの使い方について考えさせられる一冊です。

オススメ!



まんがでわかる 正義中毒

中野 信子(著)
アスコム
491 /マ

この本では、正義に溺れてしまった状態である「正義中毒」についてなぜ人は正義中毒になってしまうことや正義中毒にならないようにするためにどうすればいいのかについてマンガで分かりやすく書かれています。議論と人格攻撃の違いや一貫性の法則などの部分が勉強になり、考えさせられる一冊です。

